【別紙2】
（20260806）

仕様書

品名	morica fan（片吸込形シロッコファン）
型名	SB-30T2

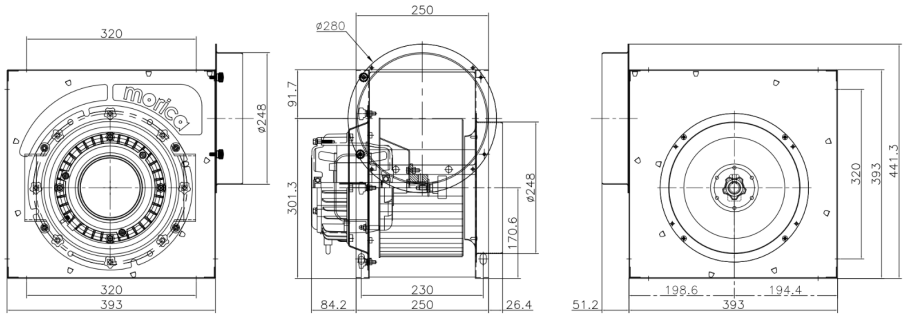
Morica Project Inc.

電源	3相　200V							送風機型式	遠心送風機/羽根径26.5cm		
電源接続仕様	ビニールキャプタイヤ丸形コード 3芯×1．25mm²　有効長1m							電動機型式	全閉形3相誘導電動機　E種　4極		
								耐電圧	AC1800V/1秒間,AC1500V/1分間		
材料	羽根：SPCC モーター：鋼鉄 ケーシング：SPCC							絶縁抵抗	10MΩ以上（500V　絶縁抵抗計）		
外観色調・塗装仕様	羽根：EX8816-GY0066 粉体塗装 シャフト：防錆塗装 ケーシング：EX8816-GY0066 粉体塗装							玉軸受	負荷側　6204DD両シール極軽接触 反負荷側 6204ZZ両シールド		
空気条件 （本体周囲・運搬）	温度　　-10℃～+50℃ 相対温度(常温）90%以下　屋内							グリス	アルバニア		
仕様・特性表	周波数	静圧	風量	電流	消費電力	騒音（dB）		最大負荷	起動電流	公証出力	質量
	（Hz）	（Pa）	（m³/h）	（A）	（w）	側面	吸込	電流（A）	（A）	（W）	（kg）
	50	0	3,480	3.5	870	78	79	3.5	17.9	1300	27
	周波数	静圧	風量	電流	消費電力	騒音（dB）		最大負荷	起動電流	公証出力	質量
	（Hz）	（Pa）	（m³/h）	（A）	（w）	側面	吸込	電流（A）	（A）	（W）	（kg）
	60	0	4,090	4.9	1,450	82	83	4.9	24.8	1300	27

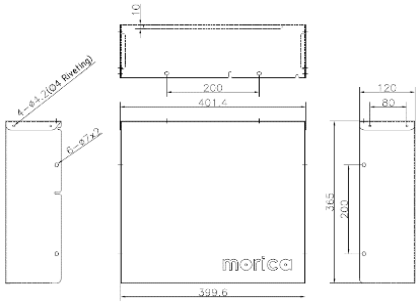
※公証出力はおおよその数値です。過負荷保護装置は最大負荷電流値で選定してください。

▌外形図

【本体】

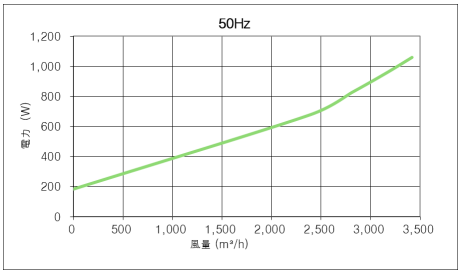


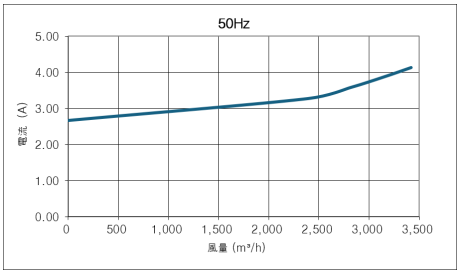
【モーターカバー】

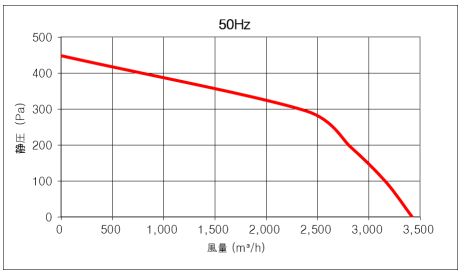


▌特性曲線図

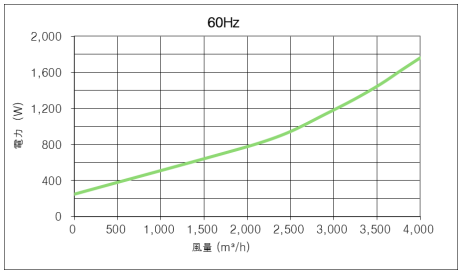
【50Hz】

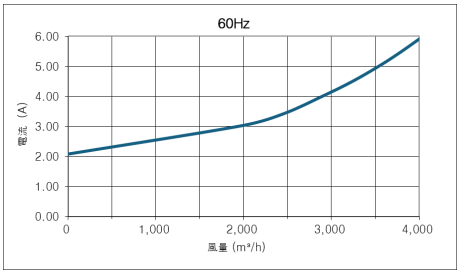


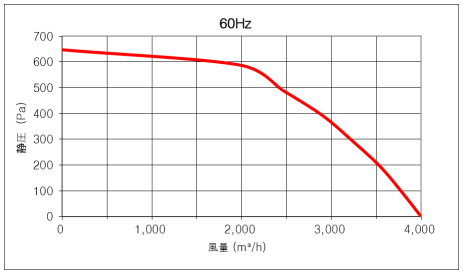




【60Hz】







【別紙2】
（20260806）

仕様書

▌注意事項

＜製品の洗浄について＞

・製品のケーシング及び羽根車に油汚れが付着する為、3ヶ月に一度を目安に分解洗浄を行ってください。

【分解・洗浄の手順動画】

※QRコードから動画がご覧頂けます。
※作業を開始する前に必ずこちらをご覧ください。

取り外し作業編　　復旧作業編

■洗浄を行う場合、必ず以下の手順で作業を行ってください。

1. 排気ファンのブレーカーを切る

2. 洗浄作業を行う前に、必ずファンが回っていないことを確認してから作業を行ってください。

3. 洗浄作業中であることを周囲に知らせる

※洗浄作業を行う際は、ブレーカーに「洗浄作業中」などの立札を使用し、第三者が誤ってブレーカーに触れないようにしてください。

4. 洗浄を行う際は、お湯と合成洗剤及び中性洗剤の使用をお勧めします。
5. 洗浄の際にモーター及び配線にお水が入らないように注意してください。
6. 錆などが発生する恐れがありますので、洗浄後はモーターの主軸にグリスを塗ってください。
7. 定期的な洗浄を行って頂くことで、適切な風量が保たれます。

＜使用環境及び使用条件＞

1. この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また日本国外ではアフターサービスもできません。
2. 製品の改造はしないでください。故障の原因となるおそれがあります。
3. 本体周囲・搬送空気の温湿度は必ずお守りください。範囲を超えますと、焼損・変形・回転不良・破損につながるおそれがあります。
4. 過度な回数の起動停止は、羽根及びモータ破損などの原因となります。
5. 常時蒸気などが発生する場所・腐食性ガスの発生するおそれのある場所・化学薬品を使用する場所・塩害のおそれのある場所では使用しないでください。
   漏電による火災・感電のおそれや、発錆または寿命が短くなるおそれがあります。
6. 羽根車に結氷するような場所では使用しないでください。焼損・変形・回転不良・破損につながるおそれがあります。
7. 給気用途では使用しないでください。本体に結露が生じるおそれがあり、結露が生じた場合、天井材への滴下・火災・感電のおそれがあります。
8. インバータ運転を行う場合は、定格周波数を上まわる設定では運転しないでください。

＜据付及び電気工事＞

1. 羽根上側のモータ軸垂直据付はできません。
2. 振動しない強固な場所に据付けてください。据付場所が弱いと共振を起こし、異常振動・異常騒音および羽根破損などの事故が発生するおそれがあります。
3. 吊りボルトおよび埋込ボルトは十分な強度のものをご使用ください。吊りボルトは、振れ止め用耐震支持部材にて必ず補強を行ってください。
   振動防止のために、防振吊金具・キャンバスダクトのご使用をおすすめします。
4. ダクト施工時は、製品本体に力が加わらないよう、ダクトを天井から吊るしてください。また、本体に穴をあけてダクト接続をしないでください。
   製品の破損・漏電・火災・感電のおそれがあります。
5. 本体接続口とダクトを固定した後は、風漏れのないよう、市販のアルミテープでテーピングしてください。
6. 雨水浸入防止のためダクト下りこう配を1／100 以上（壁側へ）とってください。
7. 保守点検のため天井に 45cm 角以上の点検口を設けてください。
8. 羽根にほこり・油汚れなどが付着しないように、吸込側にはフィルターのご使用をおすすめします。システム部材の給排気グリルに給排気
   グリル用フィルターを組合せてお使いください。また市販のフィルターを使用する場合は種類・メーカーにより圧力損失および手入れの
   しかたが異なりますので十分注意してください。
9. スイッチ・プラグなどへの接続は確実に実施してください。電源接続を間違えますと正常な運転ができなくなり、場合によってはモータが焼損するなどのおそれがあります。
10. 必ず D 種接地工事を実施してください。感電のおそれがあります。
11. 漏電ブレーカを設置してください。火災・感電のおそれがあります。
12. 電気工事は必ず有資格者である電気工事士が内線規程や電気設備技術基準に従って行ってください。絶対に「手より接続」はしないでください。
    また、電源電線の結線部分はJIS C8340の「電線管用金属ボックス及びボックスカバー」内にて行ってください。
13. モータの焼損防止のため、モータブレーカ又は電磁開閉器（電磁接触器＋サーマルリレー）などの過負荷保護装置を使用してください。
    過負荷保護装置は必ず機器1台ごとに取り付けてください。過負荷保護装置の定格容量は、50Hz, 4.4A ／ 60Hz, 6.2Aのものを設置してください。
14. 設置工事の際、ケーブルは垂れ下がらないようにまとめ、付属の配線クリップを使用して上部で固定してください。

＜定期点検及び保守管理＞

1. ご使用前・ご使用中に異常がないか確認してください。異常がある場合は使用を中止してください。また、半年に一度を目処に定期点検
（グリル・フィルターの清掃などの保守管理)を実施してください。グリル・フィルターにほこりが付着しますと、風量低下や異常音発生の原因となります。
長年ご使用の送風機ではモータ・コードなどの電気部品の経年劣化により発煙・発火に至るおそれがあります。